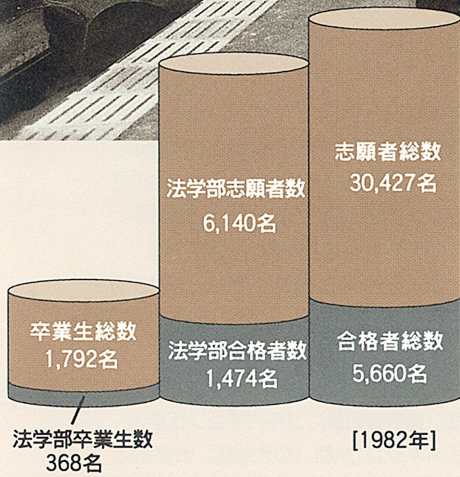
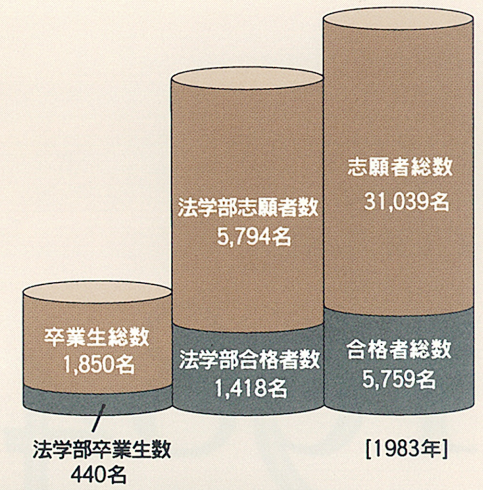
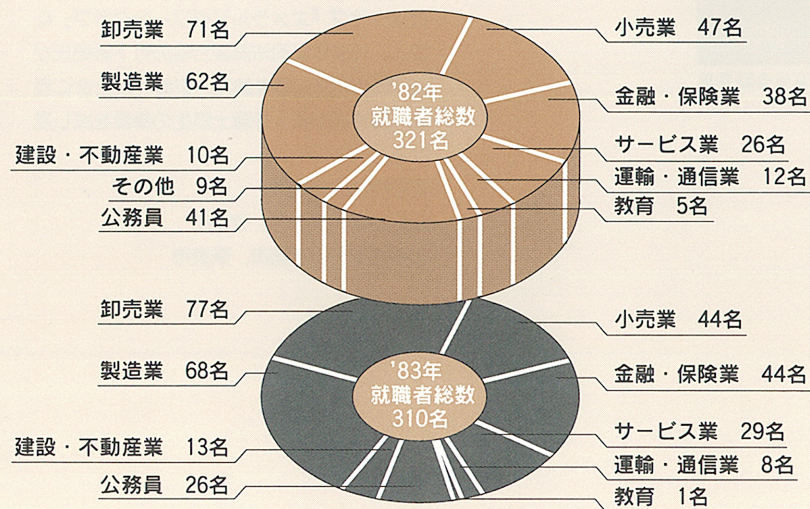


東北・上越新幹線が開業



戸塚ヨットスクール事件

[法学部卒業生業種別就職状況]



山口芳子さん



# THE COURSE OF HISTORY

# I 1984

# I 1985



深草学舎顕真館

## RYUKOKU UNIV.

新龍谷方式の入試を実施。一般入試の他に指定校推薦や論文入試を採用。一般入試は現役受験生が丙午年のため大幅に減少した。またこの年、阪神タイガースの優勝に合わせるかのように、硬式野球部が17年ぶり2度目の大学野球の全国大会である神宮球場に出場、準々決勝進出を果たす。昭和59年、創立340周年記念として、また龍谷大学の象徴として「顕真館」、建設中日棟と呼ばれていた「紫明館」、大宮学舎の西翼が竣工。大学院文学研究科・博士課程に社会学・社会福祉学専攻を開設。中国・中山大学と研究員交換協定を結ぶ。昭和60年、第1回「龍谷洋上セミナー」で約600名の学生・教職員が中国・上海に渡り、上海の5大学と交流。経営学部20周年式典開く。

- 1984 龍谷祭のテーマ〈情熱学基礎講座〉  
降誕会のテーマ〈生きる～自分の後姿が見えますか〉
- 1985 龍谷祭のテーマ〈祭典民族学大集合〉  
降誕会のテーマ〈響け十方に〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

新入会員歓迎祝賀会、同窓会会報発行、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈、映画で観る法学教室。同窓会主催第7回海外旅行(ハワイ)実施。特別事業として、同窓会会員のレジャーライフを助成する目的のもと、スキー・ゴルフ・テニスや家族旅行が楽しめる会員制クラブ「エメラルドグリーンクラブ」に加入。1981年に司法試験合格の竹下義樹氏が2年間の司法補習を終え、京都弁護士会に登録。日本初の盲人弁護士誕生の偉業を成し遂げる。

巡回無料法律相談

昭和59年・大分市、守山市

昭和60年・鹿児島市、奈良市

## HEAD LINES OF 1984

### DOMESTIC

- ①かい人21面相、グリコ・森永脅迫事件
- ②韓国の全斗煥大統領が国賓として初来日
- ③中曽根総裁再選、政権二期目がスタート
- ④長野県西部地震で死者不明29人
- ⑤東京でケーブル火災、電話九万回線マヒ

### OVERSEAS

- ①ガンジー・インド首相暗殺される
- ②アンドロポフソ連共産党書記長、死去
- ③レーガン米大統領再選
- ④アフリカ飢饉深刻化
- ⑤朝鮮半島で南北対話活発化

## HEAD LINES OF 1985

### DOMESTIC

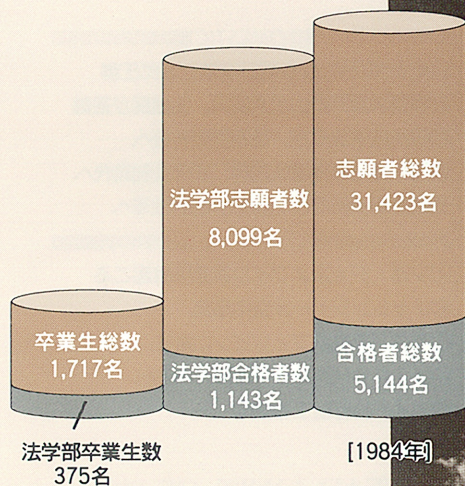
- ①日航ジャンボ機御巣鷹山山中に墜落
- ②竹下氏創政会発足、田中元首相倒れる
- ③詐欺まがい商法、豊田商事会長惨殺
- ④最高裁が衆院定数配分に違憲判決
- ⑤国鉄分割民営の方針、電電、専売民営に

### OVERSEAS

- ①6年半ぶりに米ソ首脳会談実施
- ②コロンビアで火山大噴火、死者2万人超す
- ③ソ連新書記長にゴルバチョフ氏選出
- ④メキシコでM8.1の大地震、大惨事に
- ⑤エジプト機乗っ取られ人質60人死亡



龍谷洋上セミナー



[1984年]

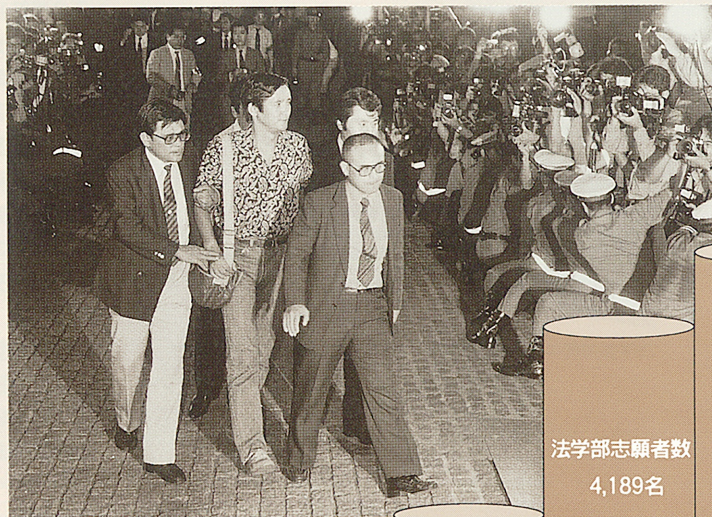
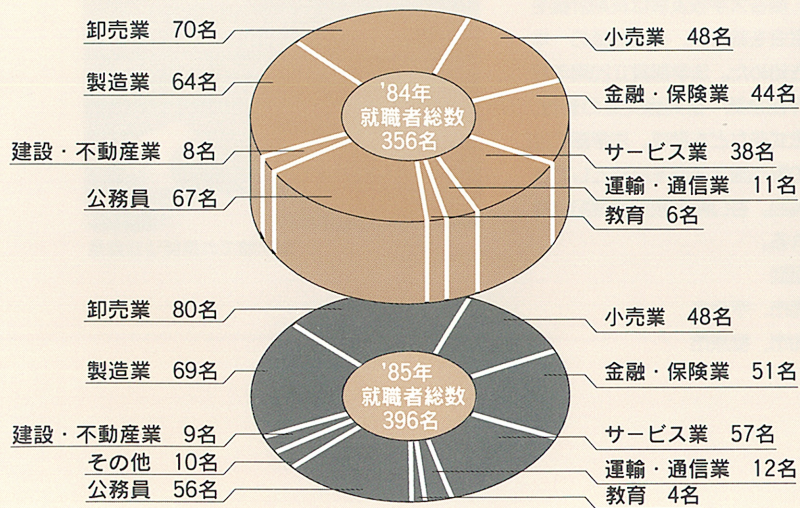


竹下義樹氏

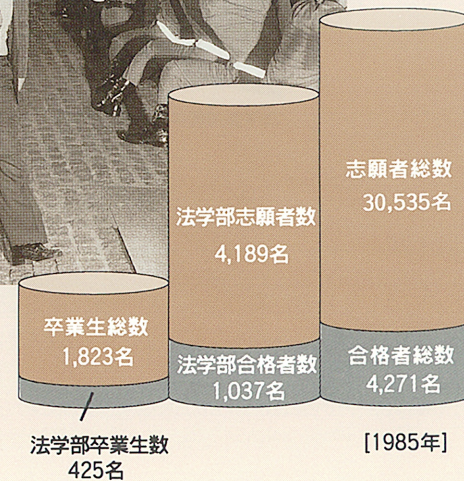


ロス五輪で山下選手らが金

[法学部卒業生業種別就職状況]



ロス疑惑の三浦逮捕



[1985年]

# THE COURSE OF HISTORY

# I 1986

# I 1987

龍谷大学 法学部1968-87

法学部20周年記念誌

## RYUKOKU UNIV.

強烈な世代間のギャップとして新人類なる造語が世の中を席卷。昭和62年、宗教系の私立大学で、ともに創立350周年を迎える龍谷大学とハーバード大学が日米国際シンポジウムを開催。テーマは「日本とアメリカにおける企業と政府の関係・日米比較」。経営学部が中心となり講演、パネルディスカッションが行なわれた。深草学舎16号館新館(現2号館)、紫陽館竣工。旧西浦女子寮を改装、龍谷会館オープン。留学生のための寮へと姿を変える。法学部20周年記念式典開催。第2次長期計画がスタートし、瀬田学舎の校地受け入れ、起工式。新学部設置許可申請書を文部省に提出するなど龍谷大学の次世代へ歩む足音が確実に聞こえ始めた。

- 1986 龍谷祭のテーマ〈感動の時代が今、はじまる〉  
降誕会のテーマ〈出会い〉
- 1987 龍谷祭のテーマ〈熱気充滿大爆発  
[やめられません自己主張]〉  
降誕会のテーマ〈鼓動〉

## LAW ALUMNI ASSN.,

第15回総会で第7代会長に田畑健氏選出。新入会員歓迎祝賀会、同窓会会報発行、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈。同窓会主催第8回海外旅行(サイパン)実施。支部の輪を広げ、活動の活性化を目的とする法学部同窓会支部会則モデルを作成。滋賀に支部設立の準備会発足。龍谷大学校友会は長期計画を立て各学部同窓会を統合し、校友組織の一本化の方向に動き始めた。法学部設立20周年記念事業、20周年記念誌・研究論文集の刊行、記念講演、記念式典などを助成。法学部では、専任教員担当の専門講義科目を原則として Semester制で実施。谷口知平教授退職記念特別講義行なわれる。

巡回無料法律相談

昭和61年・徳島市、宇治市

昭和62年・高知市、橿原市

## HEAD LINES OF 1986

### DOMESTIC

- ①史上2度目の衆参同日選挙で自民圧勝
- ②伊豆大島三原山が大噴火、全島民が避難
- ③国鉄改革法成立、翌春民間移行へ
- ④円、戦後最高値を記録、超低金利時代へ
- ⑤新型間接税など36年ぶり税制改革へ

### OVERSEAS

- ①ソ連・チェルノブイリ原発事故起こる
- ②チャレンジャーが空中爆発
- ③アキノ政権がフィリピンに成立
- ④レイキャビクで米ソ会談、物別れ
- ⑤対イラン秘密工作暴露

## HEAD LINES OF 1987

### DOMESTIC

- ①中曽根氏が指名、竹下政権が発足
- ②天皇陛下すい臓疾患で、初の長期ご療養
- ③地価暴騰、全国一は1年で3倍にも
- ④国鉄が分割・民営化、日航も民営に
- ⑤株価大暴落、ブラックマンデー

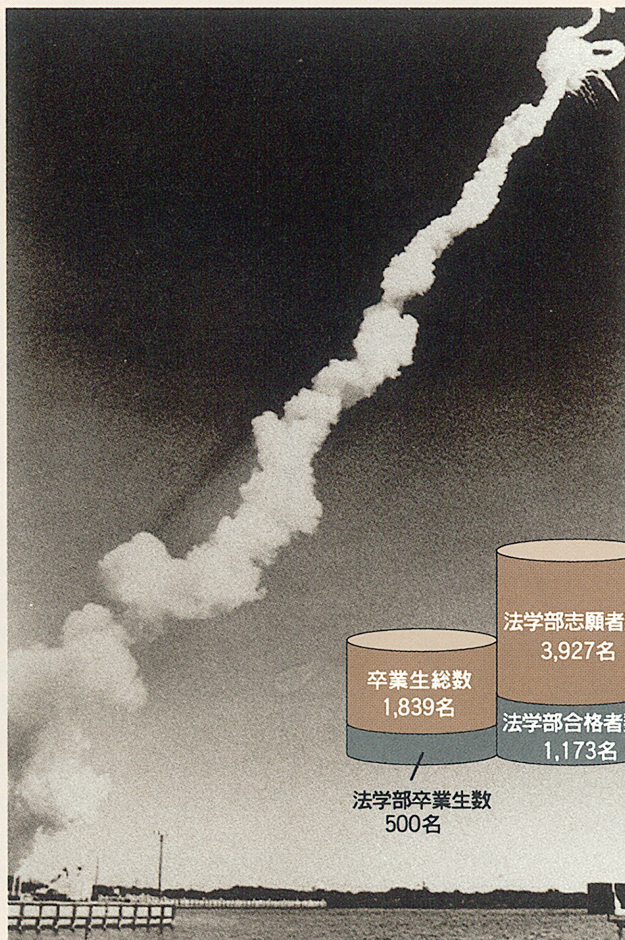
### OVERSEAS

- ①米ソ首脳が中距離核廃棄条約に調印
- ②暗黒の月曜日・NY株式が史上最大の暴落
- ③韓国の大統領に民選で盧泰愚が選出
- ④大韓航空機が墜落、国際テロで爆破か
- ⑤イ・イ戦争8年目、ペルシャ湾岸危機激化

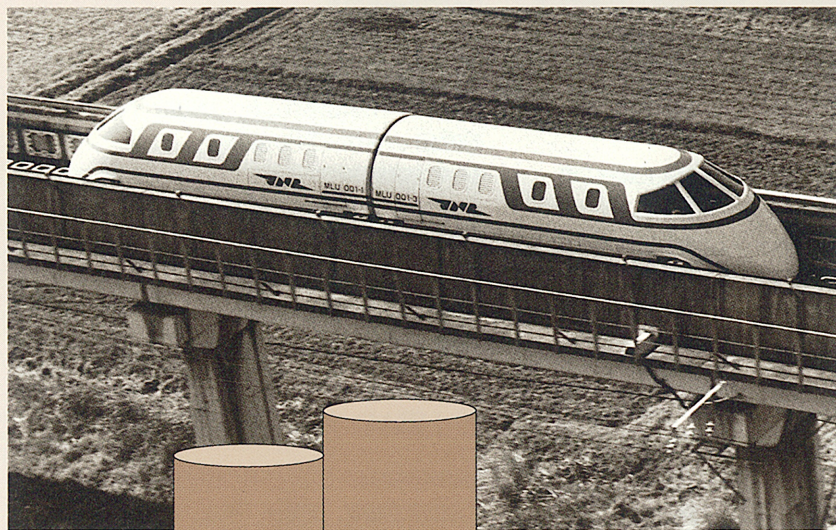
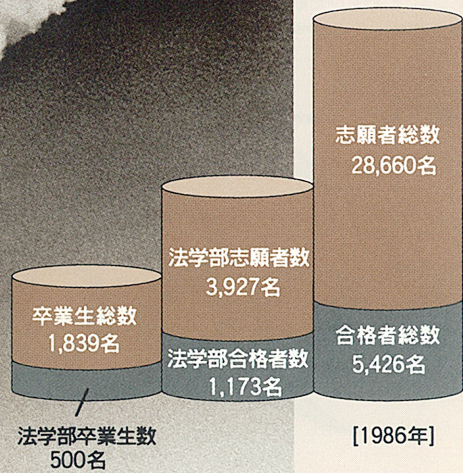


紫陽館での模擬法廷授業

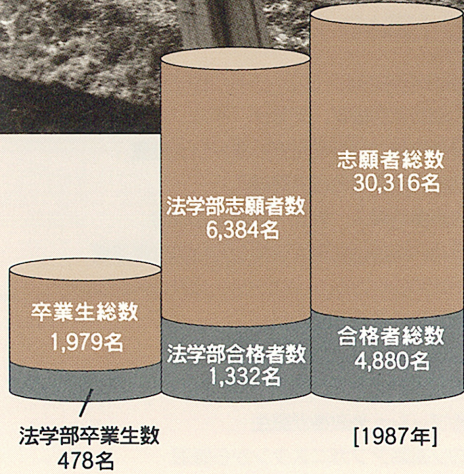
米スペースシャトル、打ち上げ直後に爆発



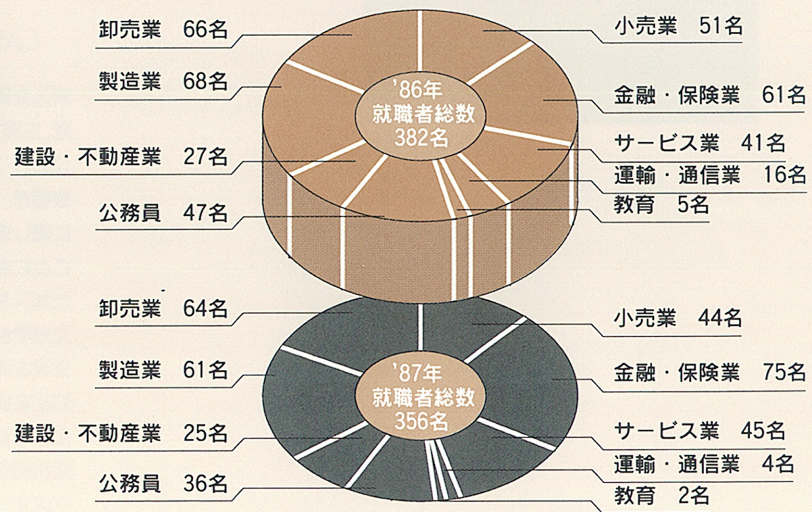
龍谷大学・ハーバード大学創立350周年  
日米国際シンポジウム



リニアモーターカー、  
有人走行で世界新記録



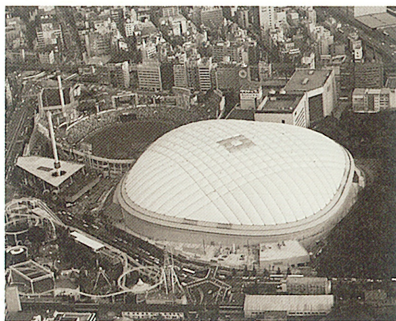
[法学部卒業生業種別就職状況]



# THE COURSE OF HISTORY

# I 1988

# I 1989



東京ドーム完成

## RYUKOKU UNIV.

平成元年、龍谷大学にとっても新たな元年を記録する年。琵琶湖に面した森の中、20ヘクタールをこえる広大な敷地に、コンピュータをはじめとした先端技術を駆使した最新のインテリジェントキャンパス・瀬田学舎の誕生。創立350周年記念式典開催。ゲストに作曲家・加藤和彦氏、元阪急ブレーブスコーチ山本忠男氏両龍大OB。ノーベル物理学賞受賞の江崎玲於奈氏、宗教人類学者の中沢新一氏、ロックバンドの竜童組など。昭和63年、深草学舎・3号館竣工。理工学部数理情報学科・電子情報学科・機械システム工学科・物質化学科、社会学部社会学科・社会福祉学科設置許可を文部省より受ける。平成元年、入試で受験者数が5万人を突破。瀬田学舎が開学。理工学部と社会学部を開設、両学部合わせて691名の入学者。

- 1988 龍谷祭のテーマ〈喜怒哀楽製造工場  
[ボクらの感性高気圧]〉  
降誕会のテーマ〈よろこび〉
- 1989 龍谷祭のテーマ〈すてきだいすき〉  
降誕会のテーマ〈今遇う〉

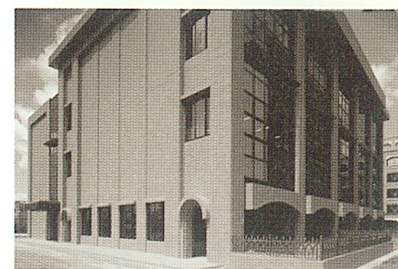
## LAW ALUMNI ASSN.,

新入会員歓迎祝賀会、法学部学生論集出版助成、法窓文庫贈呈。同窓会主催第9回海外旅行(ロンドン・パリ)実施。15号を数えた同窓会会報が、校友会報に発展的併合。同窓会会員に親しまれてきたその歴史に幕が下ろされることになったが、校友会報に一本化され、新たなスタートを切った。同窓会広島支部では文短学部・経済経営学部の各同窓会支部との交流を深め、創立350周年式典を目指した支部交友会結成に向け活動を開始した。

巡回無料法律相談

昭和63年・大分市、茨木市

平成元年・松江市、宇治市



深草学舎3号館

## HEAD LINES OF 1988

### DOMESTIC

- ①リクルート疑惑
- ②天皇陛下ご重体続く
- ③消費税導入を柱とする税制改革六法成立
- ④横須賀沖で自衛隊潜水艦・釣り船と衝突
- ⑤青函トンネル・瀬戸大橋開通

### OVERSEAS

- ①イラン・イラク停戦
- ②米ソ首脳、相互訪問
- ③米大統領選でブッシュ氏当選
- ④アフガン和平調印
- ⑤韓国で平和的政権交替実現

## HEAD LINES OF 1989

### DOMESTIC

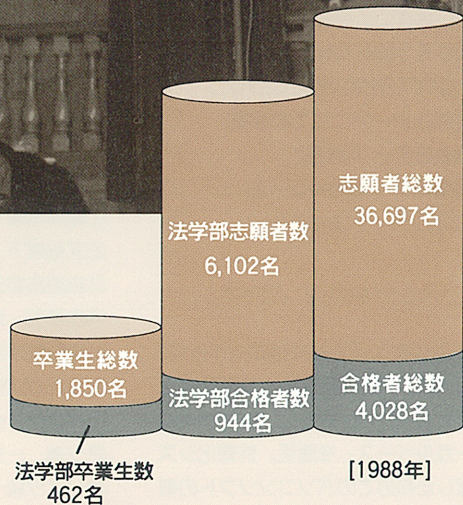
- ①昭和天皇崩御、元号が「平成」に
- ②参院選で与野党逆転、マドンナ旋風
- ③政治不信で政権交替続く
- ④消費税導入、廃止・見直しで攻防
- ⑤幼女連続誘拐殺人事件で宮崎容疑者逮捕

### OVERSEAS

- ①東欧に民主化の大波
- ②米ソ首脳がマルタで会談
- ③中国で天安門流血事件起こる
- ④ブッシュ米政権が誕生
- ⑤ソ連軍アフガニスタンから撤退

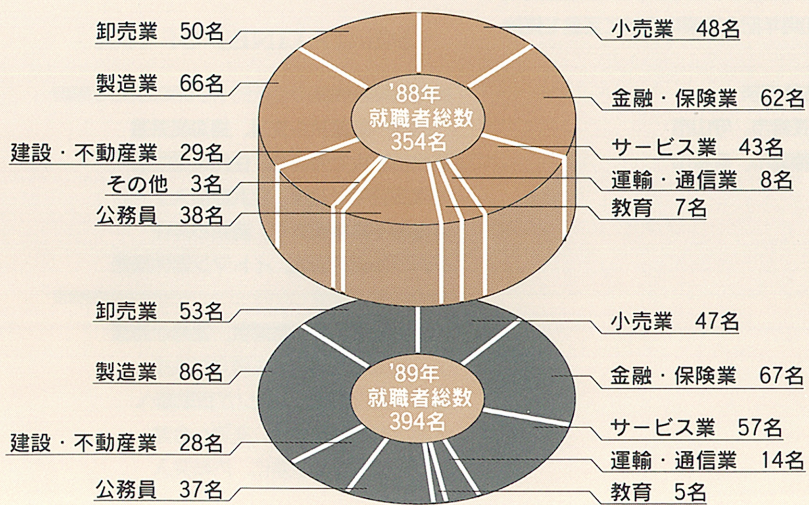


創立350周年記念式典

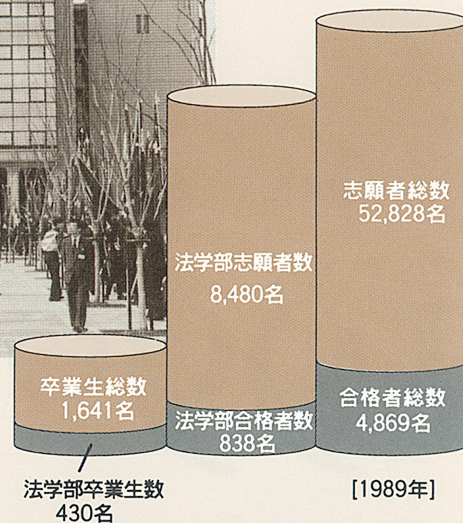


[1988年]

[法学部卒業生業種別就職状況]



瀬田学舎開学



[1989年]

天安門事件起こる



# THE COURSE OF HISTORY

## I 1990

## I 1991



第1回龍谷賞受賞者

## RYUKOKU UNIV.

平成3年、深草学舎4号館竣工。トイレの水道から水をだすための栓が消え、代わりに蛇口の下に手を入れればセンサーの働きで水がでるようになった。地下1階には味を追求した生協食堂がオープン。学館、3号館とある生協の中でもっとも値段の張るメニューが顔をそろえた。1号館前の道が閉鎖され図書館書庫増設工事が始まり、大宮学舎では清和館、本館、そして北翼はその校舎全体を持ち上げての改築が始まる。龍大はまだまだ発展の途上にあった。校友会では、平成2年より社会に貢献した校友に「龍谷賞」、業績をあげ将来を囑望される校友に「龍谷奨励賞」を創設。栄えある第1回受賞者に映画監督の松林宗恵氏、神戸女子大学大学院研究科助教授の藤井利章氏、弁護士の竹下義樹氏が選出された。

1990 龍谷祭のテーマ(ここで心呼吸)

降誕会のテーマ(成長)

1991 龍谷祭のテーマ(キャンパス)

降誕会のテーマ(まごころ)

## LAW ALUMNI ASSN.,

新入会員歓迎祝賀会、同窓会主催国内旅行(東京ディズニーランド)実施。法窓文庫寄贈にあたり、コンピュータ化に対応し、判例検索ソフト「リーガルベース」を贈呈。情報化システムを考慮した初めてのパソコンソフトの寄贈だったが、利用者も多く好評を博している。法学部同窓会創立20周年にあたり、記念事業実行委員会を組織。実行委員長に田畑健氏を選出し、20周年記念事業に向けて活動を開始する。

巡回無料法律相談

平成2年・長崎市、守山市

平成3年・徳島市、彦根市

大宮学舎本館



## HEAD LINES OF 1990

### DOMESTIC

- ①湾岸危機で日本人も人質、無事解放に
- ②天皇陛下、即位の礼・大嘗祭
- ③自衛隊海外派遣で憲法論議
- ④株暴落・地価沈静化、バブル経済に亀裂
- ⑤衆院選で安定多数確保、自民党勝利

### OVERSEAS

- ①イラク、クウェートに侵攻
- ②ソ連、一党独裁を放棄、国内危機
- ③ドイツ統一、初の選挙で保守・中道圧勝
- ④欧州不戦宣言、新時代へ
- ⑤東欧選挙で民主・改革派圧勝

## HEAD LINES OF 1991

### DOMESTIC

- ①湾岸へ90億ドル支援、掃海艇派遣
- ②雲仙噴火で死傷者、住民避難生活へ
- ③海部首相が退陣、宮沢政権スタート
- ④金融不祥事相次ぐ。蔵相ら辞任
- ⑤バブル経済崩壊、イトマン事件摘発

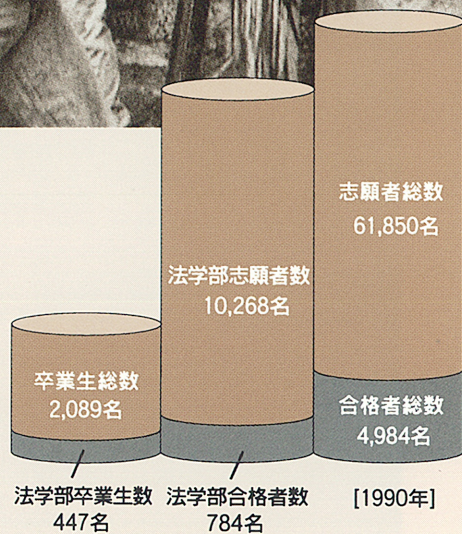
### OVERSEAS

- ①ソ連政変、共産党解散、連邦が消滅
- ②湾岸戦争勃発、米主導で新秩序へ
- ③START調印、米ソが核軍縮へ
- ④南北朝鮮国連加盟、交流へ合意
- ⑤ユーゴ民族紛争激化、内戦突入

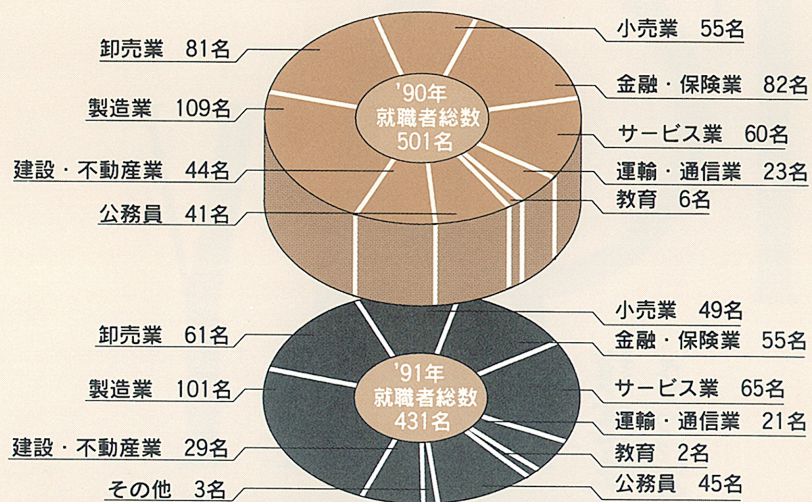




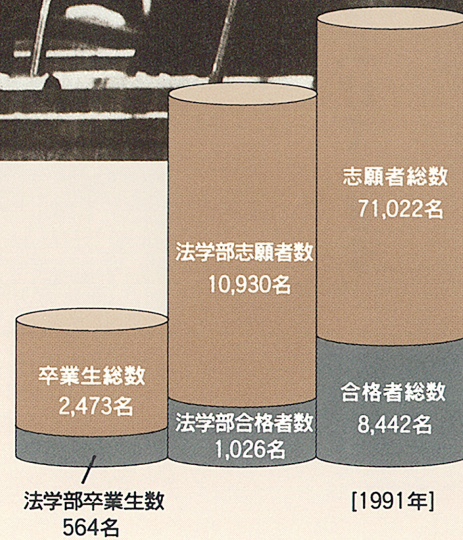
東西ドイツ統一



[法学部卒業生業種別就職状況]



ソ連政変、共産党解散、連邦が消滅



# TODAY

護憲法学部としての実績のもとに、  
さらに多様な分野へ研究領域を広げていきます。

1968年法学部法律学科設立以来、  
学部創設以後6年という短期間に大学院を設置。  
そして、1992年には政治学科を増設するなど、  
法学部は今や日本における法学・政治学の研究と  
教育の最先端をめざす意気盛んな学部として、  
内外から高い評価を受けています。  
新カリキュラムやシステムなど、進展を続けてきた  
法学部の現在の姿を紹介します。





### 変わらぬ原点、護憲の精神。

教学理念は「真実を求め真実に生きる」という建学の精神と平和憲法を擁護する護憲の精神。法学部は「平和憲法を護り、人権感覚に鋭敏な人材を育成する」という立場から、国民主権・平和主義・基本的人権尊重を理念とした法学・政治学の教育を追求する姿に変わりはありません。日本社会の変動と共にたえず改革を求められる大学教育。多様化・複雑化・国際化のなかにある現代社会の現象を的確に判断し、積極的に対応できる能力を備えた人材、教養豊かで創造的な人材の養成を、培ってきた歴史を礎にめざしています。そのためにカリキュラムの改革を進めています。

### 法律学科は進路や個性に応じて選べる4つのコースを設定。

法律学部法律学科では、進路や個性に応じて選べる4つのコースを開設しています。専門分野を深めたい法学部生は2年生の後期から、これらのコースのうちひとつを選び、専門的な学修を進められるようになっています。

#### 〈司法コース〉

法曹や司法書士、裁判所事務官などを志す法学部生のために設定したコースです。これと並行する形で、「法職課程」という特別講座を設けており、専門職試験のための集中した講義を行なっています。

#### 〈法政文化コース〉

教員、マスコミ、出版をめざす法学部生のた

めに設定したコースです。法律を文化として捉え、その国際比較や歴史的な検討をふまえながら、法律・政治・文化のあるべき姿を模索します。

#### 〈ガバメントコース〉

主に上級公務員を志望する法学部生を念頭において設定したコースです。公務員試験科目と政治学・行政学関係の科目を中心に構成されています。現実の政治や行政について見識をもった有能な管理職を養成します。

#### 〈ビジネスローコース〉

産業界への進出を志望する法学部生を対象としたコース。いわゆる民・商法を中心に学びますが、経済・経営関係科目や、広く現実の社会現象を解明するような科目、国際化・情報化時代に対応した科目も設定しています。

### 3つのカリキュラムを軸とした政治学科。

1992年、法学部に政治学科が誕生し、すでに第1期の法学部生が新しい学科作りをめざして学修に取り組んでいます。政治学科では、伝統的な政治学の体系はもちろん、とりわけ行政学と国際政治の分野に重点を置いています。これはポリシーの立案・実施・評価に際して物事を多面的に判断し、総合的に検討できる能力をもった人材、さらにグローバルな国際情勢の変化を的確に理解し対応できる学識と能力をもった人材を養成するためです。カリキュラムは「政治学部門」「行政学部門」「国際政治部門」の3つの柱から成り立ってい

ます。政治学科には法律学科のようなコースはありませんが、この3部門の履修モデルに基づくことを基準に、科目を選択していくことで将来の進路や興味に応じた学修を進めていくことができます。さらに、これらのほか法学部門、経済・経営部門、特殊講義部門が置かれており、学際的、実践的な知識を身につけることができます。

### 学科の壁にとらわれない柔軟なシステムを採用。

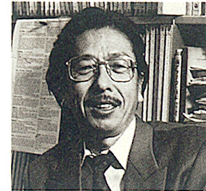
特殊講義部門では、前社会党委員長の土井たか子さんをはじめ、自治体の元首長など実務経験豊富な方々を講師として迎え、ユニークな講義を展開しています。さらに、法律学科と政治学科の相互乗り入れを実施。法律学科で「政治学入門」を履修した者は政治学科のゼミを、あるいは政治学科で「法学入門」を履修した者は法律学科のゼミを選択してもよい制度を設けています。法学部生が大学での学修を通じて自分の学びたい道を探りながら、最終的な研究テーマを選んでいくことを可能にしています。

# TODAY

教員スタッフから、法学部同窓会20周年に向けて。



石井幸三 教授  
現状肯定は生ける化石になる。



川端正久 教授  
どうや 元気に生きたるか 卒業生諸君/同窓会20周年、光輝歷程。温故知新。



木坂順一郎 教授  
大学と実社会との懸橋として大きく発展されることをお祈りいたします。



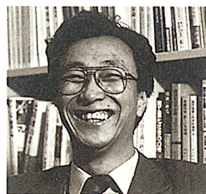
田北亮介 教授  
常に自己刷新に心がけられ、新しい一層の発展を。



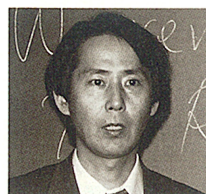
武久征治 教授  
法学部同窓会設立20周年を心からお祝い致します。20年は成年への飛躍の年です。外に向かつての一層の飛躍に努力したいと思えます。



田中則夫 教授  
1974年3月、同窓会に歓迎されて、入会しました。私は今でも会員です。



平野孝 教授



平野武 教授  
時は過ぎ去るのではなく、積み重なるのだと思います。同窓会にびったりの言葉です。



本間靖規 教授  
転職の時代といわれていますが、出身大学をかえることはできません。これからはもっと大学が大切になります。



見上崇洋 教授  
大学激変の時代を迎え、社会と大学の重要な接点として、同窓会の役割はますます大きくなるでしょう。



牛尾洋也 助教授



白石克孝 助教授  
(外留中)



中田邦博 助教授  
昨年、学会デビューが終わりほっとしています。今年は、民法Ⅰの担当です。では、また。



萩屋昌志 助教授



石田徹 教授

20周年おめでとうございます。今年開設の政治学科の将来を期待してください。



上田勝美 教授

学部創設の精神が更にみずみずしくゆきわたり、発展されんことを！



小畑雄治郎 教授

同窓会ならびに諸君の実社会での活躍を期待しています。



甲斐道太郎 教授

同窓会は、大学の存立を支える重要な柱です。法学部同窓会の一層の発展を祈ります。



片岡昇 教授

成人に達した法学部で、若々しい息吹きを力強く感じています。



金東勲 教授

同窓会の発展は、法学部の発展でもあります。ますますの積極的な御支援を。



坂本勝 教授



繁田寛造 教授

スタート線上に立った時には、レースは半ば終わっていると心得て準備すべきである。



高島學司 教授

早や二十歳の成年とは——堅実な伝統の上にこれからの飛躍を心より念じています。



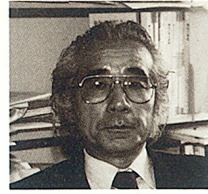
高橋進 教授

20周年は人間で言えば成人。これからの大きな開花を期待します。



溜池良夫 教授

「日に新たに、日に新たに、また日に新たに」と申します。二一世紀に向けて、日に新たに、発展をお祈りします。



中川祐夫 教授

自分が今日あるのは、龍谷大学法学部で学んだことにあるという「誇り」をいつまでも。



永良系二 教授

法学部・大学のさらなる発展のために、同窓会の皆さんのより一層の御支援を。



西尾幸夫 教授



水口憲人 教授

よい研究が行える大学にするために、同窓会が力添えされることを期待しています。



萬井隆令 教授

現在の学生の問題意識をゆきよき勉学意欲をかきたてる企画を期待します。



脇田滋 教授



松岡久和 助教授

「いや栄え」の祝辞を句の上に据えて戯れに詠める  
〈稲荷山 社の朱に映ゆ きみどりは 枯れることなく 枝を広げる〉



三阪佳弘 助教授

# TOMORROW

龍谷大学と卒業生の豊かな未来をめざして

「350分の20の可能性」——

法学部同窓会20周年のテーマです。

この言葉の中には、20年を無事迎えた喜びとともに、  
龍谷大学と卒業生の豊かな未来、ますますの発展のために  
私達がこれから何をすべきか、何ができるのかを改めて  
考えてみよう、という未来への発信の意味をも凝縮しています。

この章では、龍谷大学10Bとしての視点から、  
ささやかながら提言をしたいと考えています。

そして、この章をお読みいただき、賛同あるいは、  
批判の声が高まることにより龍谷大学をいま一度  
盛り上げようという契機になれば幸いです。







### 在野の気風を大切に

私達が卒業して20年。時の流れの速さと変化の大きさを改めて痛感する今日。入学した当時、すなわち法学部ができた頃、ベルリンの壁の崩壊や、まして旧ソ連邦の解体など誰が予想できたでしょうか。最近のトレンドがまさにメガの単位で動き、今後も社会的・経済的にまったく予想のつかない時代にあることだけは確かなようです。私にとって入学した当時の龍谷大学の率直な感想として述べるなら、門徒ではあっても宗門出身でもなく、第1志望校でもなく、ただ何となく入学し、当時の殺風景な深草キャンパスとも相俟って、さほどの愛校心もありませんでした。そしてこの気持ちは私だけでなく、大半の学生も同じだったと思います。しかし、4年がたち卒業の時期が近づくに従い、龍谷大学は自分にとって何だったのか、またこのままではいったい国公立大学や他の有力私立大学に対しても「私学の存在意義」を問うたり、「官学何するものぞ」といった在野の気風がなければ、何のために龍谷大学に入ったのか永久に不明のままに終わるのかもしれないと考え始めました。それは就職も決まり、卒業間近になっていくに従いこのまま全く大学と縁がなくなるのも残念と思う気持ちもあり、当時の各ゼミナールの連合組織である「ゼミ連」を母体に仲間たちとOB会組織を作ろうとしたときでもありました。

### 同窓会活動の中で 初めてわかったOBの偉大さ

同窓会活動や校友会の事業を開始し、行なっていく中で、全国のOBの力なくしては、法学部同窓会メイン事業の一つである「無料法律相談」のような事業を他の都市で開催した場合、私達だけの努力だけでこのように成功するはずがなかったと考えています。また、それこそ本願寺の各別院の協力等も含めて言えることだと思います。そういう中で、この大学の設立趣旨や建学の精神は、ひょっとしたら凄いことなのではないかと思い始めたのでした。しかし、一つ残念なのは、特に在学中にそういうことがあまり感じられず、卒業してからの方がはるかに強くなっていったことです。つまり、これは卒業して自分の力で社会で生きていかなければならなくなったときに、大学以外のところで頑張っている先輩方の経験と知識に接し、強い影響を受けることが多かったからです。この時は、申し訳ありませんが、大学の援助よりもOBの力の方をはるかに強く感じたものです。



### 卒業生の追い風となる 龍谷大学の発展を

龍谷大学がさらに発展することは、卒業生である私達にとって、社会の中での強い後ろ盾になるし、大学と卒業生の双方で協力発展していかなければならないと強く思っているところです。さらに、数年後に確実に訪れるであろう「大学の冬の時代」に備えて、いまこそ一層の充実を図るべき時にあるように考えます。現在、社会のまっただ中にある私達としては、将来に大学が発展しようが、未来で大学が非常に良くなるだろうが、私達自身が没した後に名声が上がっても少しも嬉しくありません。ごく近い将来、さらに言えば、この2~3年に飛躍的に伸びなければ意味がないのです。もちろん、もっとも重要なことは各界の各分野にいる卒業生自身が自分の力で、その場所で、精一杯努力することではありますが、しかしながら大いなるバックアップとしての大学からの強い追い風もなくしてそれはありえないとも考えるところです。また、卒業予定者から言えば、大学は学問の場であると同時に、現実問題としての就職活動の場でもあるわけです。ですから、大学はもっとこの課題に目を向ける必要があるのではないのでしょうか。大学の就職活動の一環として、コンピュータシステムの導入等によって、以前とは比較にならないほどのデータ集積が行なわれていると思いますが、例えば、東京の某有名私大などはコンピュータ等のハード的充実よりも、教員・職員挙げてのソフト面の充実と行動力によって、多大な実績を上げていることに目を向けなければなりません。具体的には、一般企業に就職した卒業生で、人事担当や営業部門で実績を積んだベテランを母校にスカウトしたりする抜本的な施策を行なっているのです。実業界とのパイプづくり、ネットワークづくりに邁進し実績を上げているのが現実です。



### 龍谷大学のアイデンティティを明確に

もう一つ、私達が今一番大学に望みたいことは、大学としての強いアイデンティティを打ち出してもらいたいことです。具体的には、龍谷大学はこういう大学であってほしいという部分の強い表出だと思います。そのキーワードとして以下のものが存在すると考えています。

1. 350年以上の歴史を持つ大学
2. 建学の精神の表出
3. 小規模ではあるが、多学部を擁する総合大学
4. ユニークな学部や他大学にない学科・講座を持つ大学
5. 社会人に対しても門戸を開いた大学
6. 文化的・国際的で上品で明るい校風

これらについて具体的にどうアピールするかをもう一度研究する必要があるのではないかと考えています。これは、建物などに代表されるハード面や、今後の増設されるであろう学部・学科・カリキュラム等のソフト面、さらに対社会的・対国際的なアピール・広報に至るまで、徹底した見直しの必要を感ずるのです。そのためには、学内のみならず学外に対してもっとアクティブでアグレッシブでなければならぬと思います。

### 在野の精神を 今こそ発揮した大学運営を

教員・職員を問わず、優秀な人材であれば、一般企業で行なわれているヘッドハンティングのような部分もあって良いのではないのでしょうか。また、ヘッドハンティングまで行かないまでも、経営的・実務的にかなり進んでいると思われる実業界の若手の人々の意見を広く求めるだけでも非常に効果的なことと考えます。先にも述べたように国際的・社会的なトレンドがどこにあるのか、また、イメージ形成の重要性等に視点を置き、カリキュラムの編成や就職問題にまで生かせるようなマクロな観点が必要だと思えます。例えば、他大学が最近設立する新しい学部や学科において、なぜ既成の名称を使用しないのかという点です。文部省からの指導等の問題もあるのですが、これは一方には企業や社会的なニーズが同時に存在するからなのです。他大学との差別化や個性化を図ること、時代のトレンドを大きく見据えること、社会のニーズの検証を広く行なうと同時に、アグレッシブに行なうことこそが、龍谷大学と卒業生の双方が大いなる発展を約束される道ではないかと考えています。先に述べたように企業間競争のまっただ中にあるものとして企業から常に注視を集め続ける大学に龍谷大学がぜひともなってもらいたい、目標はこの一点につきるのです。



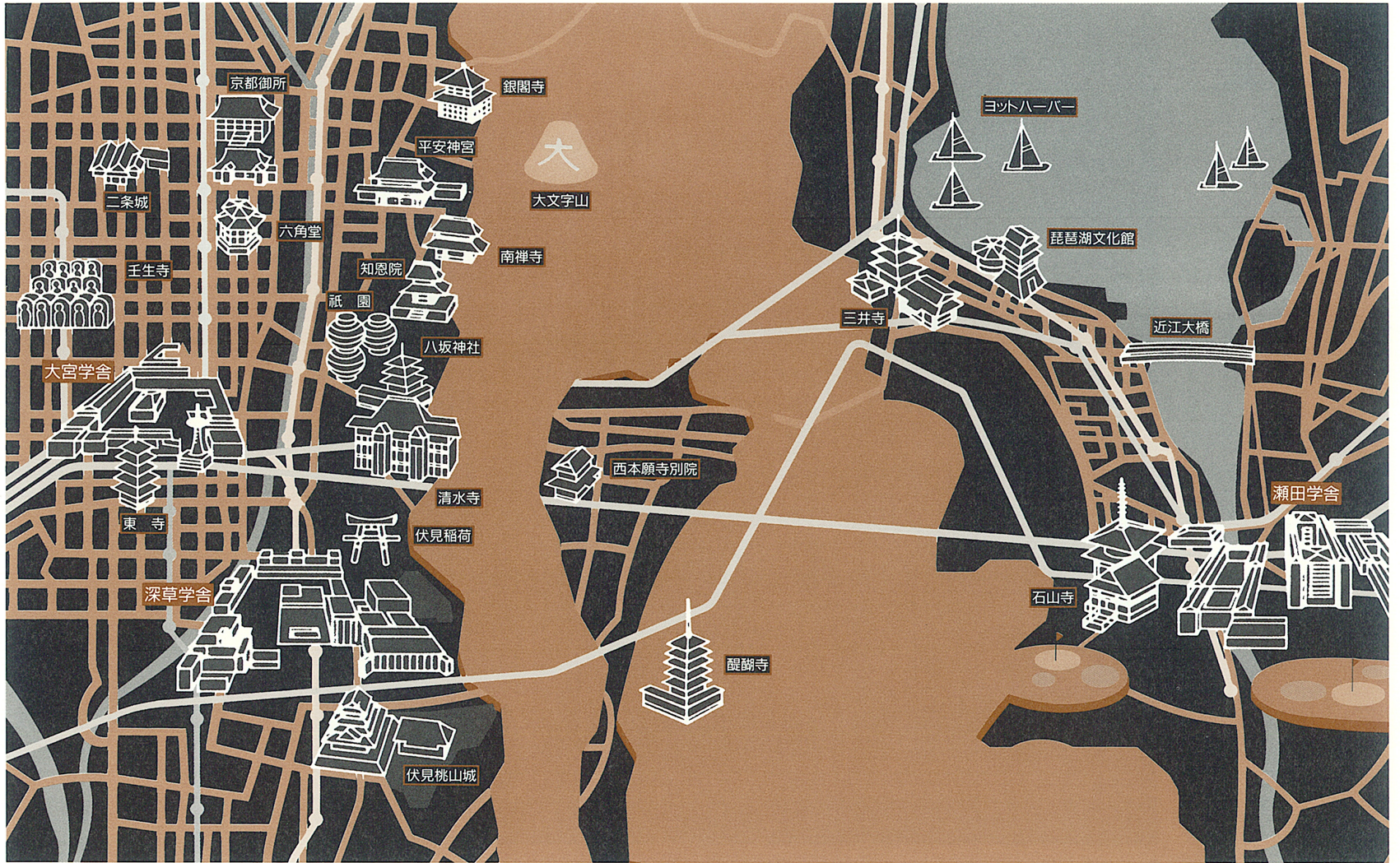
### 意見の受・発信地としての同窓会

この発展への道をいかに形成していくか、ここに新たな同窓会の役割があると考えています。会員相互の親睦を深める組織としてはもとより、この20周年を機にさらに一步踏み込んで各界・各分野で活躍されている龍大卒業生の発展的・建設的な忌憚のない意見を交換する場として、また、そこに集められた意見を大学に提言・伝達する場としての同窓会に成長させていきたいと思っています。重ねてお願い申し上げますが、この課題に皆様の実社会での経験と知識をぜひ生かしていただき、積極的な参加をお願いいたします。

# KYOTO & SHIGA

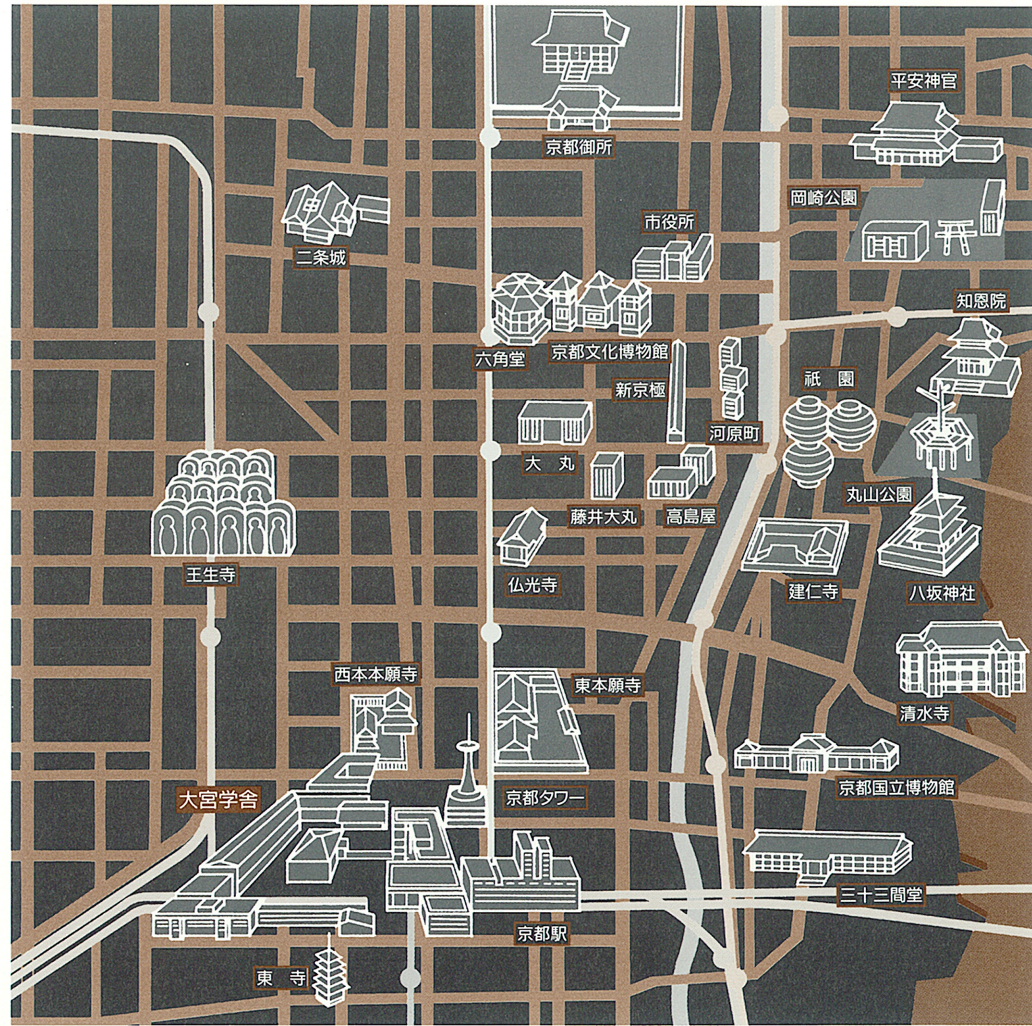


# A R E A M A P



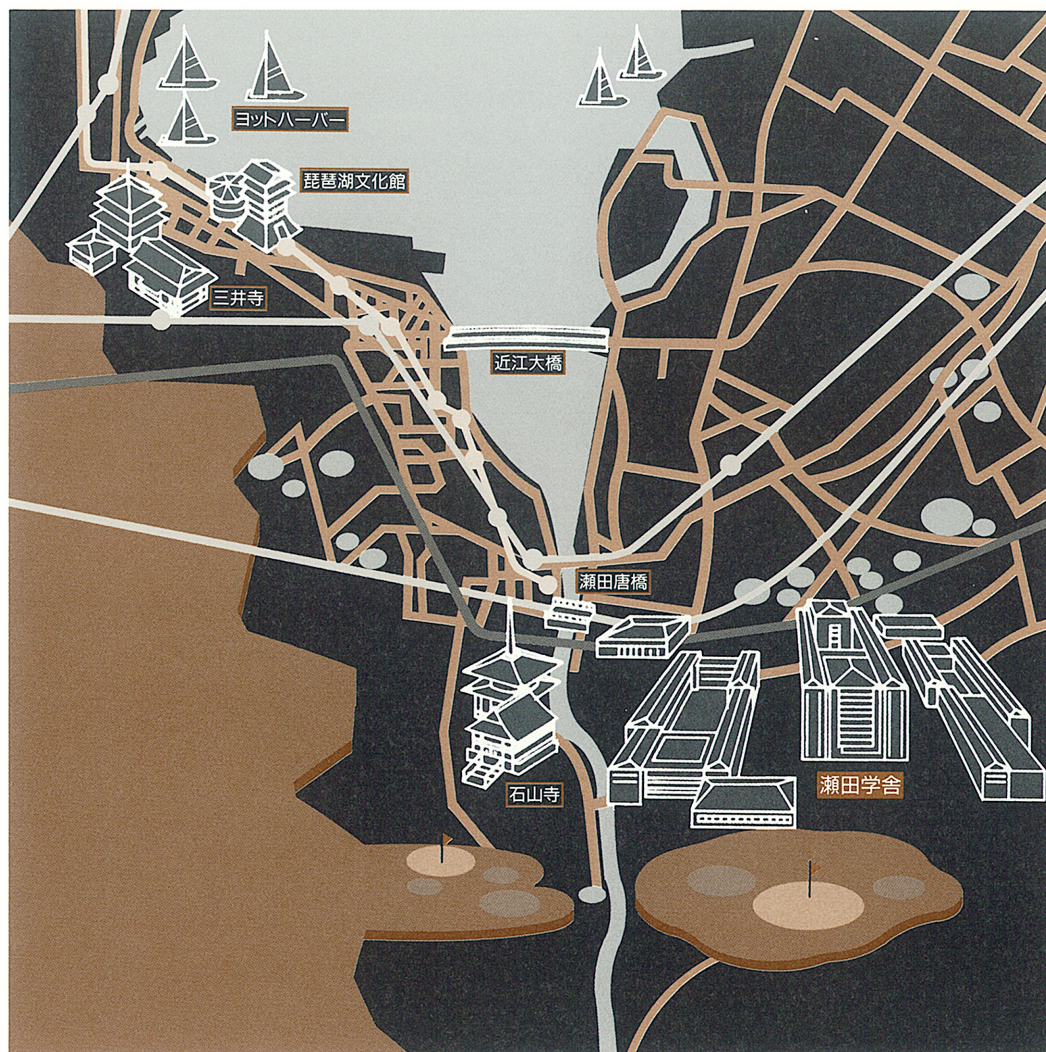
# FUKAKUSA





ŌMIYA

# SETA





### 龍谷大学法学部同窓会 〈カレッジリング〉

龍谷大学法学部同窓会設立20周年を機に、龍谷大学法学部卒の記念の象徴として本格的なカレッジリングを制作しました。制作に当たっては、伝統、格式、そしてより本格的であるべきという意図の下、アメリカ・ジャスティン社へ依頼。ハーバード大、プリンストン大をはじめ多くの大学のもを手掛けており、ロサンゼルス五輪の金メダルも制作した専門メーカーです。デザインは天然石（ブラックオニキス）のまわりに龍谷大学法学部同窓会の公式英文を配し、右側面に龍谷大学創立年の1639と大宮本館を図案化。左側面に、法律のシンボルとしての天秤とモンテスキューの法の精神を表す書物をデザインしています。同窓会会員の方に特別価格にて販売しています。龍谷大学法学部同窓会の一つの証として、是非一つお持ち頂きたいと存じますので、お気軽に龍谷大学法学部同窓会までお問合せください。

### 龍谷大学法学部同窓会創立20周年記念誌

1992年9月27日発行

編集 | 龍谷大学法学部同窓会創立20周年記念事業実行委員会・横川孝道

編集責任 | 龍谷大学法学部同窓会会長・田畑健

発行 | 龍谷大学法学部同窓会

デザイン | (株)デバイス

編集協力 | 龍谷大学/木田恵子/門阪好哲/(株)デバイス

資料協力 | 京都新聞社

写真協力 | 龍谷大学/共同通信社/井上博道/横川輝男/Mスタジオ、

Freege/R・CREATION

製版・印刷・製本 | 東洋紙業高速印刷(株)